

ローポリライフの3.11返り
シーズン7, No1. 高木早紀さん

所要時間

設問

50p

[問い1] 今た、たら どんは 質問が できるか

- 1) 「現場に出された」とおっしゃいましたが「現場」とはどのような意味でしょうか?
- 2) 会社は何故、高木さんをサイクルショップへ異動させたと思えますか?
- 3) 「(異動に関して)まさか、意外」とおっしゃいましたが、それはどうしてですか?
- 4) 「理想とかけ離れている」ということに関してもう少し詳しくお話し頂けますか?
- 5) 大学卒業後の就職先として何故大手スー110-を選択したのであか?
- 6) 今までの話を聞いたかにお話しされましたか? それは何故ですか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

良かった点
事例IのCCt8 (相応しい→相応しくない)

理由: 「最近仕事がうまく行かなくなってきた」「理想とかけ離れている」といふ
葛藤している相談者の気持ちに寄り添い、価値観を色ねることかできた点。

悪かった点
事例IIのCCt9 (相応しい→相応しくない)

理由: 相談者の回答がうまく理解できなかったため、もう一度質問を
行ったところ、相談者から「矢はともお伝えした」と言われてしまった点。

[問い3] CLの主訴

冒頭では「最近仕事がうまくいかなかった」といふことを
相談された。相談者のお話を聴いてみると、現在のサイクルショップの仕事は「自分
でコントロールできている」と感じ、(異動前は)充実していた」と語っていた。また、
(異動と聞かして)「まさか」「意外」「現場に出された」等の発言か「理想とかけ
離れている」等の発言から異動に対する不満や理想と現実のギャップが主訴かと思う。

[問い4] 今後の展開 (今後どうせよるか)

想定外の異動でも頑張っていることを相談者へ伝え、相談者へ寄り添い、
信頼関係を構築する。そのうえで(1)会社は何故相談者を異動させたの
か尋ねて頂き、相談者が希望すれば上司か人事から説明を聞く機会を提供可能
会社か相談者に求める役割に関して内容を促す。(2)相談者かかっていた仕事と
現実の仕事とのギャップに関して改めてリストアップし、どうすれば理想に近い仕事を
相談者と共にできる。最終的には相談者か前向きに仕事ができるよう支援可能。